

地域公共交通計画（素案）に対する
パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間：令和4年1月1日～1月31日

意見提出者数：4人

提出意見数：12件

■地域公共交通計画（素案）について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方（対応）
1	1		50	4	3				旭ヶ丘から日生中央やイオンに乗り換えなしで行けるシステムにしてほしい。	<p>P33で、住民アンケート調査での「バスの運賃や乗り継ぎ利用に対する意向」をまとめておりますが、バス利用時における乗り換え可能な回数を年齢別に見ると、20～54歳や75歳以上では「乗り換えはしたくない(料金が高くても目的地まで直通が良い)」の割合が、他の世代に比べて高くなっています。しかしながら、P34でまとめております路線バス（杉生線・西能勢線）利用者の意向は、乗り換えを許容できる方は、杉生線が9割以上、西能勢線が8割以上を占めています。また、乗り換えを許容できる回数が2回までの方は、杉生線が7割以上、西能勢線が約6割を占めています。</p> <p>各交通モードの機能を最大限に発揮するためには、各交通モード単独による利便性や生産性の向上だけではなく、各交通モードで役割分担を行いながら、全体的に連携強化を図る必要があります。このため猪名川町の公共交通は、現状の運行状況や役割を踏まえ、機能分類し、階層的なネットワークを構築し、「乗継拠点」を設けることで、接続性を高め、効率的で効果的なネットワークの形成を目指しています。</p>

2	1		50	4	3			高齢者の人は乗換は不便なため乗り換えなしで目的地まで行けるようにしてほしい。	<p>P33で、住民アンケート調査での「バスの運賃や乗り継ぎ利用に対する意向」をまとめておりますが、バス利用時における乗り換え可能な回数を年齢別に見ると、20～54歳や75歳以上では「乗り換えはしたくない(料金が高くてでも目的地まで直通が良い)」の割合が、他の世代に比べて高くなっています。しかしながら、P34でまとめております路線バス(杉生線・西能勢線)利用者の意向は、乗り換えを許容できる方は、杉生線が9割以上、西能勢線が8割以上を占めています。</p> <p>公共交通による移動において、移動の連続性を確保することは重要です。乗継拠点での乗継ぎの利便性向上を図るため、機能強化や施設の整備を進めます。</p>
3	1		56	5	2	1		料金は片道500円程度にしてほしい。	<p>P56、P57に記載しております通り、わかりやすく・利用しやすい地域公共交通環境づくりの推進が必要と考えております。料金体系の見直し、多様なニーズに応じた助成制度の促進・拡充に向けて取り組んでまいります。</p>
4	1		25	2	6	5		豊明市のチョイソコの最大のメリットは目的地に直接行けるようにしているが、大島地区は阪急バスに乗り継ぎしないと目的地までいけない。	<p>豊明市で始まったチョイソコは、現在全国で導入が進んでおります。地域によって交通事情、また会員登録の制限や運行時間なども異なります。目的地に直接行ける重要性は住民アンケート調査でも把握しておりますが、人口減少や少子化に伴う公共交通利用者の減少やバス乗務員不足による路線バスのサービス水準の低下や路線廃止などの悪循環の防止と改善の為にも、既存交通機関との乗り継ぎや連携が必要と考えております。</p>

5	2							<p>日生ニュータウン線の伏見台配水池前経由の本数が少ない。深山池公園南経由の本数と同数程度にした方がいいと思う。</p>	<p>伏見台配水池系統については、地域からのご要望に応じる形で平成 23 年 3 月に阪急バス(株)が新設した路線となりますが、運行開始以降、ご利用者は低調であり路線の維持が厳しい状況です。そのため、阪急バス(株)では平成 30 年 10 月に輸送力調整を実施し、減便に至ったところですが、その後もご利用者は低調であることから、阪急バス(株)より路線の廃止や運賃体系の見直しの申し入れが町へ行われているのが現状となります。</p> <p>高齢化が進む日生ニュータウンにおいて持続可能な公共交通の維持を目指して阪急バスに限らず、「ふれあいバス」や現在、実証実験を行っている「チョイソコいながわ」など、限られた交通資源を有効に活用するよう路線の見直しなど交通事業者とともに協議を行ってまいります。</p>
6	2	25	2	6	5			<p>乗合タクシーを利用したことがないが、ワンコインで目的地まで運んでくれる便利な交通機関だと思う。</p>	<p>乗り合い送迎サービスデマンド交通「チョイソコいながわ」については、愛知県豊明市で運行中のデマンド交通「チョイソコ豊明」の仕組みを活用した実証実験となりますが、本格運行を令和 4 年 4 月から予定しており、引き続き、路線バスが乗り入れ困難な地域の生活圏内の移動を支える生活交通として効率的で効果的なネットワークの形成を目指します。</p>

7	3		48	4	3			自治会内での自家用有償運送（福祉有償運送）や、互助による運送（≡無償によるボランティア輸送）の導入を推進するべき。	公共交通を維持、発展させていくためには、行政及び交通事業者だけでの取組みでは限界があるため、住民をはじめとする地域の関係者、協働により公共交通を支えることが重要です。自家用有償運送や、互助による運送は、持続性が一つの課題と認識しております。地域の実情に応じて、十分な協議と適切な役割分担のもと連携について検討します。
8	4		55	5	1	2		乗継拠点の機能強化及び整備 「杉生」バス停に、チョイソコと阪急バスとの乗り継ぎ拠点として、観光客（ハイカー・サイクリング）への利便性も兼ねて、トイレの設置と待合室の美化整備が必要と思います。	「杉生」バス停留所は、路線バス、ふれあいバス、チョイソコいながわの乗り継ぎ拠点としての役割を担うことから、快適な乗継拠点としての整備が望まれております。杉生バス停留所に限らず移動の連続性を確保することは重要と認識しており、P58に記載している通り、乗継拠点での乗継ぎの利便性向上を図るため、停留所の利用状況などを踏まえながら快適な停留所の整備等により、バス利用環境の改善を図ります。
9	4		56	5	2	1		料金体系の見直し 路線バスを維持することが重要な施策だと思います。計画に記載されています「路線バスの上限運賃制度」を導入していただき、より多くの方に乗ってもらえるように、進めていただきたいと思います。	P56、P57に記載しております通り、わかりやすく・利用しやすい地域公共交通環境づくりの推進が必要と考えております。料金体系の見直し、多様なニーズに応じた助成制度の促進・拡充に向けて取り組んでまいります。その一つとして、路線の維持・確保に向けた利用促進を図るために運賃に上限を設け、正規運賃との差額を補てんする制度（上限運賃制度）等の導入可能性について検討します。

10	4		57	5	2	2		<p>助成制度の促進・拡充</p> <p>グランドパス65への助成は、多くの高齢者に喜ばれていますので継続をお願いします。</p> <p>計画に記載されています「高校生への通学助成」を、ぜひとも実現してください。現状では子どもが小中学校の時は自然に親しめてよかったが、高校になると遠く通学時間がかかるとともに、通学定期の高さにびっくりして、転出される方が多くおられる現状からも高校生・大学生への通学費用の助成は必要と思います。</p>	<p>P56、P57に記載しております通り、わかりやすく・利用しやすい地域公共交通環境づくりの推進が必要と考えております。料金体系の見直し、多様なニーズに応じた助成制度の促進・拡充に向けて取り組んでまいります。その一つとして、通学時における公共交通の利用促進を図るために、子育て世代への通学に係る費用負担を低減する助成制度等の導入可能性について検討します。</p>
11	4		58	5	2	3		<p>バス利用環境の改善</p> <p>一定数の利用者があるバス停には、屋根を設置して高齢者等がバスを待ちやすい環境をお願いします。特に、尾花橋バス停は、歩道拡幅前にはバス停に屋根が設置してありましたが、撤去され高齢者が困っておられます。</p>	<p>尾花橋バス停は、歩道拡幅工事の際に老朽化していた屋根が危険であった為、バス事業者により撤去されており、利用者数減少により再設置は難しいと聞いております。</p> <p>公共交通による移動において、移動の連続性を確保することは重要です。P58に記載している通り、乗継拠点での乗継ぎの利便性向上を図るため、停留所の利用状況や設置の可能性等を考慮しながら屋根やベンチの設置に限らず快適な停留所の整備等により、バス利用環境の改善を図ります。</p>

12	4		59	5	2	4				<p>公共交通に関する情報案内</p> <p>チョイソコを利用される高齢者で、電話での予約をされている方が多いですが、文字が大きいタブレットを貸し出して、より簡単に予約ができるシステムを提案すれば、もっと高齢者の利用も増えていくと思います。</p>	<p>チョイソコいながわについては、P28に記載している通り登録者及び利用経験者ともに、「70～79歳」が最も多く、次いで「80～89歳」、「60～69歳」の順と高齢者が大半を占めます。すでに、WEB予約を昨年4月より開始しており、スマホ、タブレット、パソコンなどで予約可能となります。町内を運行する鉄道・路線バス・コミュニティバス「ふれあいバス」及びデマンド交通「チョイソコいながわ」の路線網やタクシーの営業所等、公共交通に関する情報を簡単に入手できるよう、公共交通マップの作成や町ホームページ等の多様なツールを活用した情報発信を行います。</p>
----	---	--	----	---	---	---	--	--	--	--	---